



社協シンボルマーク

ふれあいネットワーク

曾於市社会福祉協議会情報紙

第57号

平成29年5月15日



手と手

やさしさ
100パーセント

作品名 「めぐるいのち」

道端に転がるかたつむりの殻から着想を得て、人間の一生の時間の流れや積層をテーマに描いた作品です。

鹿児島県立曾於高等学校 美術科教諭 川畑 和美さん



主な内容

平成29年度事業計画・収支予算について	P2
皆来館1周年記念イベントについて	P3
職員募集・訪問入浴介護事業所移転について	P4
就任及び新規採用職員紹介	P5
第13回社会福祉大会福祉作文・ポスター募集	P6
見守り協定企業紹介	
サロン紹介・サロン助成金のお知らせ	P7
日本赤十字会費増強運動月間について	P8
心配ごと相談所・弁護士による無料福祉相談のお知らせ	P9
寄附金報告	P10

理念 人と人との

つながりを大切に

地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会
曾於市財部町南保 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)
TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

平成29年度 事業計画

【基本方針】

国勢調査開始以来、初めて日本の人口は減少に転じ、少子高齢化は一段と進んでいることが明らかになり、本市の高齢化率はすでに37%を超え、人口は急速に減少している状況です。一方で、高齢になっても、住み慣れた我が家で暮らしたいと望む人も増えてきています。また、障がいや疾患を持つ人や生活に困窮する人など様々な課題を抱えながらも、安心して地域社会の中で暮らすことができる環境整備や地域生活支援の在り方が問われており、地域での暮らしを支える福祉の充実は今々の課題となっています。

また、社会福祉法人制度改正に伴い、「公益性」「非営利性」を備えている社会福祉法人として「国民に対する説明責任」「地域社会へ貢献する法人の在り方」が改めて定義されました。

このような状況の中、本会のこれまでの実績を活かしながら、地域のネットワーク、住民や様々な関係機関と協働し、共生社会を支えるためのしくみづくりを主体的に推進し、地域包括ケアシステム^{※1}の一翼を担っていくことが求められます。

組織経営においては、介護保険制度の改正により、要支援者へのサービスが市町村事業に移行され、さらに、介護報酬改定や介護人材の確保の課題等により、経営上厳しくなることが予測されます。一人ひとりの尊厳を重視した専門性の高いサービスを展開し、効率的かつ適切で安定した事業運営に努めていく必要があります。

本会は、「人と人とのつながりを大切に 地域と共に歩む」の理念のもと、地域の状況、社会福祉の動向を踏まえ、アウトリーチ^{※2}を基本としてコミュニティソーシャルワーク^{※3}の強化、既存事業の見直しと充実、新規事業の研究・開発、受託事業に伴う体制整備など、第二次基盤強化計画に沿って、関係機関・団体等と協働し、職員の資質とサービスの向上を図り、安定した事業経営と地域に信頼され必要とされる社会福祉協議会活動を実践していきます。

※1 地域包括ケアシステム：団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのこと。

※2 アウトリーチ：相談援助機関に持ち込まれる相談を待つのではなく、地域社会に出向き、相談援助を展開していくこと

※3 コミュニティソーシャルワーク：地域において援助を必要とする人に対し、個別・地域支援や地域へのアプローチなどの社会福祉活動

平成29年度 収支予算



受取利息配当金収入	180千円	会費収入	3,275千円	積立資産取崩収入	12,904千円
負担金収入	620千円	拠点区分間繰入金収入	5,223千円	事業収入	11,957千円
貸付事業収入	570千円	その他の収入	1,145千円	経常経費補助金収入	42,289千円
寄附金収入	3,346千円	障害福祉サービス等事業収入	11,377千円	その他の活動による収入	3,735千円



売上原価支出	43千円	その他の活動による支出	11,526千円	予備費支出	9,806千円
負担金支出	76千円	助成金支出	3,318千円	固定資産取得支出	5,227千円
貸付事業支出	450千円	共同募金配分金事業費	6,823千円	事業費支出	62,294千円
その他の支出	166千円	拠点区分間繰入金支出	5,226千円	事務費支出	68,434千円

みなくるかん

皆来館 1 周年記念大会

4月8日（土）柳迫小学校体育館にて 200 名を超える方々の参加をいただき、「皆来館 1 周年記念大会」が開催されました。

【記念大会の内容】

オープニング

ビデオ上映（1 年間の活動の様子）

第 1 部

講演「困ったときはお互いさま 助けられたり、助けたり」

講師 NPO 法人 隣の会 齋藤鈴子理事長

第 2 部

・柳迫小学校「竹太鼓」演奏

・皆来館利用者の発表

柳迫小学校 6 年 東国原来夢さん

皆来館での日常的な児童クラブふれ愛活動の様子やこれからの未来に向けた発表

・曾於警察署 「ふれあい交番」

うそ電話詐欺についての寸劇、曾於市の交通事故の状況、車両展示など

多世代交流グラウンドゴルフ大会



【皆来館スタッフの声】

長寿国日本。他に例をみないスピードで超高齢社会が差し迫っています。このため「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう」地域包括ケアシステムの構築が推進されてきています。

こうした中、「皆来館」をオープンして一年。子どもから高齢者まで、誰もが気軽に集い、必要な支援を受けることができる福祉の拠点としてスタートしました。オープン以来 3 月末現在、延べ 3,100 名を超える地域の皆様にご来館いただき、ふれあいの場作りを行うことができました。

「ふれ愛カフェ」「子育てサロン」「ふれ愛お食事会」「手作り教室」「児童クラブふれ愛活動」そして、色々な相談活動など、あっという間の一年でした。また、一年を通して、すべての自治会で支え合いマップ作りや認知症サポーター養成講座、7 か所でのサロン活動など取り組んで参りました。認知症の方への対応など色々な課題も見えてきて、今後どのように地域に密着したスタイルを創っていけるのかが問われます。今まさに始まったばかりですが、行政や曾於市社会福祉協議会と十分な連携を図りながら、地域と共に活動に取り組んでいきたいと思っています。



な課題も見えてきて、今後どのように地域に密着したスタイルを創っていけるのかが問われます。今まさに始まったばかりですが、行政や曾於市社会福祉協議会と十分な連携を図りながら、地域と共に活動に取り組んでいきたいと思っています。

職 員 募 集

一緒に曾於市社会福祉協議会で働いてみませんか！！

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会では、以下の職務に従事する職員を公募します。

1 公募する職等

- (1) 公募する職
①保健師 ②管理栄養士もしくは栄養士 ③介護支援専門員

(2) 受験資格

現在、曾於市内に居住する方又は採用後曾於市内に居住することができる方で、普通自動車運転免許及び保健師、管理栄養士もしくは栄養士、介護支援専門員の資格を有する方

(3) 採用定数 若干名

2 受験申込み受付期間

平成 29 年 6 月 1 日(木)から 7 月 14 日(金)
午前 9 時から午後 5 時まで
ただし、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。

3 採用試験日

平成 29 年 8 月 6 日 (日)

4 試験場所

曾於市社会福祉協議会 本所
(財部保健福祉センター)

5 お問い合わせ先

詳しいことのお問い合わせは下記までご連絡ください。
社会福祉法人曾於市社会福祉協議会総務課 担当 藤田 ☎ 0986-72-0460



在籍職員の声

福祉事業課
指定居宅介護支援財部事業所勤務
介護支援専門員 ながやま 永山 ようへい 陽平



人を支えるということは簡単ではありませんが、様々な方との関わりを通して自分自身も成長や喜びを感じています。熱い想いを持った上司や先輩方も一緒に考え、サポートしてくださるので安心して働ける職場です。

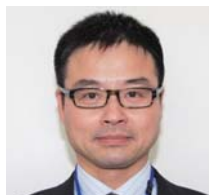
訪問入浴介護事業所の名称変更と事業所移転のお知らせ

曾於市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所の事務所等が、以下のとおり変更になりました。

項目	変更後（平成 29 年 4 月 1 日から）	変更前（平成 29 年 3 月 31 日まで）
事業所名称	曾於市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所	曾於市社会福祉協議会訪問入浴介護 <u>末吉</u> 事業所
事業所所在地	〒 899-4101 曾於市財部町南俣 504-1 (財部保健福祉センター内)	〒 899-8605 曾於市末吉町二之方 2342-2 (そお生きいき健康センター内)
連絡先	☎ 0986 - 72 - 0460 FAX 0986 - 72 - 0425	☎ 0986 - 76 - 2224 FAX 0986 - 76 - 2475
サービス実施地域	曾於市内全域（これまでと変わりはありません）	

※拠点となる事業所の変更で、事業内容やサービス実施地域、スタッフ等に変更はありません。
※曾於市唯一の訪問入浴介護事業所として、皆様が安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

地域福祉課長の紹介



地域福祉課長 しんかわ よしとし
新川 好敏

この春、地域福祉課長を拝命しました。

生まれも育ちも岩川で、入職してからほとんどを大隅の地で過ごして参りましたが、地域福祉を推進するに当たっては、人としての尊厳を大切にしながら、その人らしい生活を支えることに変わりはありません。社会福祉協議会の職員は、先頭に立つことなく、陰ながら皆様の生活をお手伝いする立場です。福祉の専門職として支えていけるように職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

大隅支所長の紹介



大隅支所長兼福祉事業課 訪問給食サービス事業所 主任 まきの みすず
牧野 美鈴

この度の人事異動により、大隅支所長に就くこととなりました。

私は、入職以来、訪問給食サービス事業で、一人暮らしの方の見守りと食事支援を業務としていました。これからは、広く住民の方々と接する機会も多くなると思います。誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して、頑張りたいと思います。未熟なことが多くあると思いますが、地域の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

新規採用職員の紹介



地域福祉課 財部地域福祉相談センター 職員
介護福祉士、准看護師

うちだ まゆみ
内田 真弓

昨年度まで臨時職員として通所介護事業所で勤務しておりましたが、正規職員として地域福祉相談センターで勤務させていただくことになりました。地域の皆さまが安心して暮らせるその手助けができるよう努力して参りたいと思います。



地域福祉課（本所）地域福祉コーディネーター
社会福祉士

もりやま まみ
森山 真美

本所勤務となりました。曾於市に住みはじめて3年目になります。地域の皆さんとの出会いを楽しみに福祉のまちづくりを一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



地域福祉課（末吉支所）地域福祉コーディネーター
社会福祉士、精神保健福祉士

おおishi あや
大石 綾

末吉支所で勤務させていただくことになりました。分からないことばかりですが、地域の方々のお役に立てるように、日々努めて参ります。笑顔の多い曾於市を、皆様と一緒に作っていったら、と思っています。ご指導、よろしくお願い致します。



福祉事業課（居宅介護支援大隅事業所）
介護支援専門員

かまだ ともひろ
鎌田 智洋

大隅支所で勤務させていただくことになりました。これまでの経験をより一層発展させ、地域の皆さまのお役に立てよう努力して参ります。ご指導の程、よろしくお願いいたします。



福祉事業課（居宅介護支援末吉事業所）
介護支援専門員

あらば まさと
荒場 正人

末吉支所で介護支援専門員として勤務させていただく事になりました。初心を忘れず一生懸命仕事に取り組んでいきます。地域の皆様のお役に立てよう努力して参ります。よろしくお願い致します。

福祉作文・ポスター大募集

第 13 回曾於市社会福祉大会の開催に当たり、福祉に対する意識の高揚と啓発をはかるため、次のとおり作文とポスターの募集を行います。

テーマ 「思いやり」

応募資格 児童生徒の部：曾於市内の小・中・高校に在籍する者
一般の部：曾於市内に在住する市民、企業、事業所に勤務する者

募集作品 作 文：小学生 400 字詰原稿用紙 3 枚以内
小学生以外 400 字詰原稿用紙 3～5 枚
ポスター：B 3 判（364mm×515mm）
又は四つ切判（392mm×544mm）
※画材、色彩、縦、横は問いません。

応募方法 児童生徒の部：在籍する学校に提出してください。
一般の部：社会福祉協議会の本所又は支所に提出してください。

応募締切 6 月 30 日（金）

審査・表彰 委員による審査を経て、8 月 27 日（日）に末吉総合センターで開催される社会福祉大会において表彰し、賞品を贈ります（最優秀者のみ）。



第 12 回曾於市社会福祉大会
ポスター最優秀賞作品

曾於市における 地域の要援護者の見守り活動協定

～協力いただいている企業・施設・商店よりひとこと～

本会では、市内の 36 企業・施設・商店等と見守り活動協定を締結し、日々の業務の中で住民の変化やちょっとした気づきを連絡してもらい、地域活動者と連携を図りながら、迅速な安否確認を行う見守りネットワークを推進しています。協定を締結している企業・施設・商店等をご紹介します。



シバ巧芸

していることを新聞記事等で知ることも多くあり、子どもたちの成長を嬉しく思うと同時に、ボランティア活動の喜びを感じています。

また、ボランティア活動を通じて仲間が増えたことも大きな喜びの一つです。

今後も、皆さんとの出会いや繋がりを大切に、少しでも地域に恩返しができるよう見守り・声かけを続けていきたいと思っています。

愛知県で運送関係の仕事をしていましたが 30 年ほど前に、大隅町に戻り看板店を構えました。看板を作る技術等は、すべて独学で学びました。まったくの素人だった私を地域の皆さんが温かく受け入れてくださり、現在までお店を続けることができています。

少しでも地域の方々へ恩返しができるという思いから防犯パトロールなどのボランティア活動に積極的に取り組んでいます。これまで約 20 年間、毎朝通学路に立ち、子どもたちの登校を見守ってきました。顔見知りになった子どもたちが部活動で活躍



サロンで地域いきいき

水ノ久保地域いきいきサロン会

代表者 小松 孝雄

水ノ久保地域いきいきサロン会は、財部北小学校周辺の 65 歳以上の自治会未加入者を含む 26 名の会員で活動しています。大隅町の坂元地区との交流や、社協からの助言もいただき 5 年前に結成しました。現在では、年 35 回程の会を楽しく開いています。

天気のいい日曜日の午後のグラウンドゴルフをはじめ、公民館の清掃や年 2 回のヤクルト講話、4 月の花見会、5 月の焼肉会、6 月のさのぼり会、8 月の花火大会、9 月の敬老会と運動会、12 月の忘年会と年末のそばとお餅の配布（安否確認）など自治会を通して楽しく活動しています。

今年の 2 月からは、社協と曾於警察署のご支援で、買い物活動をしています。月 2 回程度 10km 先のスーパーまで車で送迎していただき、1 時間程度の買い物に毎回 10 名位が参加しています。

今後もみんなの笑顔の為に、和をもって活動を続けていきたいと思います。

「心は見えなくても心づかいはみえます。思いは見えなくても思いやりはみえます。」のサロンの合言葉を胸に！



ふれあい・いきいきサロンとは??



高齢者や障がい者、子育て中の親など、地域の誰かが気軽に参加できる「憩いの場」です。地域の身近な場所で自由に参加し、レクリエーションや健康体操、おしゃべりなどを楽しむものです。人とふれあうことによって引きこもり防止や生きがい作りにもつながります。

本会では、住民主体のサロン活動が地域で活発に行われるよう、サロン活動に対する助成金交付、サロン傷害保険の加入などの支援、その他活動に関する相談に応じています。

平成 29 年度の助成金交付については、下記のとおりです。

活動回数	助成金額	助成金申請の条件	申請期間
年間 5 回以上開催	継続サロン } 5,000 円 新設サロン }	1 回の活動の参加人数がおおむね 5 人以上であること	4 月 3 日（月）から 6 月 30 日（金）まで
毎月 1 回以上 （年間 12 回以上）開催	継続サロン：12,000 円 新設サロン：15,000 円		

サロンへの専門職派遣の調整も行っています。サロン活動に関するご相談等ありましたらお問い合わせください。

5月は赤十字会費増強運動月間です！

～ 赤十字の活動資金にご協力をお願いします ～

日本赤十字社では、毎年「赤十字会費増強運動」を実施し、赤十字運動に参加し支えていただく会員の募集と赤十字事業に必要な会費（活動資金）へのご協力を広く呼びかけています。曾於市で集められた会費は、鹿児島県支部に送金され、地域での赤十字活動をはじめ、様々な人道的活動に役立てられています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

赤十字からのお知らせ

平成 29 年 4 月から従来の社員制度の一部が変わります。

日本赤十字を取り巻く環境の変化や社員や社費という名称が分かりにくいとの反省を踏まえて、次のとおり変更します。

★ 「社員」を「会員」、「社費」を「会費」

と呼称を変更します。

- ★ 会員の中で年 2,000 円以上のご協力をいただいた方には、ご希望により 日本赤十字社の運営参画の支援者として登録させていただき、広報誌などを通じて情報提供させていただきます。



★皆様へのお願い★

これまでどおり、日本赤十字社に対し、年に500円以上を目安とした、ご協力をお願いいたします。

赤十字に関する Q & A

Q 日本赤十字社は国の機関ではないのですか？

A 日本赤十字社は世界 190 か国ある赤十字・赤新月社の 1 つで国内単独の民間組織ですが、その設立は日本赤十字社法（昭和 27 年 8 月 14 日法律第 350 号）という法律に基づいて設置された法人です。

しかし、一方では災害救助法の定めるところにより、行政が行う非常災害時の救護業務に従事する国及び地方公共団体に協力し補完的役割を持って幅広く活動しています。



Q 赤十字と共同募金（赤い羽根）の違いは？

A 日本赤十字社は国や地方公共団体の業務に協力する機関として、災害救護活動や血液事業等の推進にあたるほか全世界の赤十字共通の理念である人道的見地から、国内のみならず国外で発生した災害や紛争による被災者、また保健衛生指導などの救援活動も行っています。

一方、共同募金会は「社会福祉事業法」に基づいて設立された団体で毎年 10 月から 12 月に収納された浄財は、日本国内の社会福祉施設や福祉団体に施設整備資金等として配分されており、赤十字とは全く関係ありません。

Q 赤十字の会員加入や会費募集は強制ですか？

A 決して強制ではありません。日本赤十字社は、会員で組織されており、会員の納める会費が活動資金となっておりますので、赤十字の趣旨や事業をご理解いただいたうえで、自由意思で加入いただくことになっています。

心配ごと相談所開設のお知らせ

心配ごと相談は、相談員が地域の皆様の日常的な不安や悩みなどの相談に応じ、解決のお手伝いをします。相談内容によっては、専門機関へおつなぎします。

5月～6月の
心配ごと相談日

とき 毎週木曜日
9:30～12:00

ところ

【財部】財部保健福祉センター
【末吉】末吉中央公民館
【大隅】大隅中央公民館

5月		18日	25日
相談員	財部	棚木原・柳田	㊤橋本・児玉
	末吉	中西・田代	山内・竹石
	大隅	上門・大村	山口・前田
6月		1日	8日
相談員	財部	鎌原・柳田	上村・棚木原
	末吉	田代・吉田	中西・竹石
	大隅	鮫島・佐伯	前田・上門

※都合により相談員が代わることがあります。

※④財部地域の5月25日の相談会場は財部中央公民館に変更します。

7月以降の予定につきましては、現在、調整を行っております。ご了承ください。



ひとりで悩まないで

弁護士による無料福祉相談窓口

誰に相談したらいいの？借金が多額になり支払いが大変だ。離婚について相談したい。交通事故に遭ってしまった。大事な人が亡くなって遺産をどうしたらいいのかわからない。突然仕事を解雇された。家賃を支払ってもらえない。様々な問題のご相談を鹿児島県弁護士会所属の弁護士有志で結成した「ひまわりの会」の弁護士（現在10名在籍）がお受けします。

◎窓口開設の日程は？

毎月第3木曜日 午後1時から4時までとなっております。（完全予約制）

会場	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター
相談日	平成29年5月18日	平成29年6月15日	平成29年7月20日

◎相談方法は？

弁護士による面談です。

◎相談料はいくらですか？

料金は無料です。（相談者からは頂いておりません。）

◎申し込みはどうするのですか？

事前に予約が必要です。「ひまわりの会 事務局」までご連絡ください。

☎ 099-227-0041（受付：平日9時～17時） 代表弁護士 山口 政幸 鹿児島市山下町12番17号 2階

鹿児島県介護実習・普及センター
からのお知らせ

平成29年度 地域介護講座（大隅地区会場）

家庭や住み慣れた地域で安心して暮らすための介護の知識と技術を学びます。
～無理せず、決して一人で抱え込まない、地域全体で見守る介護を目指して～

日時：平成29年7月13日（木）10時～15時（受付9:30～）

場所：大隅弥五郎伝説の里（〒899-8102 曾於市大隅町岩川5718-1）

定員：30名 資料代：500円



【プログラム】

時 間	形 式	内 容	講 師
9:30 ～ 10:00		受 付	
10:00 ～ 12:00	講義・実技	らくらく寝返り・起き上がり・立ち上がりの介助、 ベッド・車いすからの移乗	作業療法士
12:00 ～ 13:00		昼 食	
13:00 ～ 15:00	講義・実技	飲みこみのしくみ、 誤嚥を防ぐ食事の姿勢と介助方法	言語聴覚士
15:00 ～ 15:30	講義・実技	福祉用具の選び方と使い方	福祉用具 専門相談員

【申込先・問い合わせ先】 鹿児島県介護実習・普及センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター2階 ☎ 099-221-6616 FAX099-239-0384

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）※申し込みは、曾於市社会福祉協議会窓口でも受付けています。

たくさんの方の善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。

なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成 29 年 3 月 1 日～4 月 30 日）

本所（財部）受付分

吉 村 登 荒川内
松 山 博 子 南
東 崎 正 治
吉 元 政 治 平 野
室 屋 保 己 川 内
井 上 浩 美 奎 比 野
須 賀 澄 治 須 賀
上 井 榮 子 溝ノ口
田 畑 キリ子 桐 原

末吉支所受付分

山之内 孝 新 武 田
竹之下 弘 下 新 地



大隅支所受付分

折 田 加久子
西 京 子 麓
永 山 シャチ 東 鍋
吉 原 ムツ子 久 保 崎
井 上 良 一 上 森 園
川 内 辰 博 丸 尾
池之上 淳 一 新 田 場
赤 松 フミ子 八 合 原
酒 匂 ヒサ子 新 原
岩 切 令 上 馬 場
村 山 萬里子 広 津 田
匿名 1 件

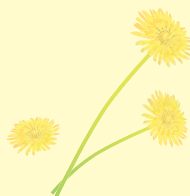
一般寄附金品（敬称略）（平成 29 年 3 月 1 日～4 月 30 日）

本所（財部）受付分

前田 重治
橋本 絹代 高塚 10,000 円

大隅支所受付分

大園 征郎 中高松 3,000 円
や五六会
匿名 1 件



末吉支所受付分

田代谷展望台ライブ 室田 三郎

お詫び

「手と手」第 56 号 (P4) に掲載いたしました賛助会費協力者一覧の協力者の氏名に誤りがございましたので、訂正し、お詫び申し上げます。

訂正前	訂正後
多良木義文	→ 太良木義文
池田 正明	→ 池田 正昭

編集後記

新年度が始まり多くの方が期待や不安を抱きながら、新しい環境での生活をスタートされていると思います。私自身を振り返ると、良いことばかりではなかったですが、様々な思いや経験をしてきました。その経験が今の私を形成し、仕事にも活かされているのだと再認識しています。これからの人生、学ぶべきこともまだまだ多く、経験を積み重ねてまいります。時には立ち止まることもあると思いますが、その時は自身を振り返り『初心忘るべからず』という言葉に胸に刻み身も心もリフレッシュして利用者様や地域のために頑張っていこうと思います。

m・n